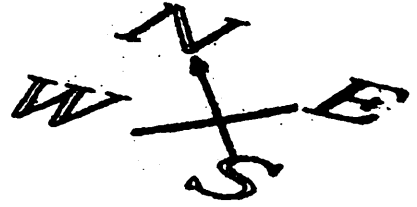


エコネット

2010年8月1日

第195号

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称 藤沢エコネット)



主 事
な 記
事
・ふじさわ環境フェア2010をふりかえって
・学んで楽しくクッキング
・武田薬品・実験動物焼却炉
・藤沢市リサイクルセンター概要

事務局〒252-0816 藤沢市遠藤849-9 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922 (夜間のみ)

<http://comcom.jca.apc.org/econet/>

知らぬがお陀仏

今年も梅雨が空けた。シトシトと降る風情のある日本の梅雨はどこかへ行ってしまう、ゲリラ豪雨にみられるような激しい降りが襲うようになったのは、人間の都合で自然環境を壊してしまったせいだろう。企業の都合、強欲資本主義のせいで環境や生活が壊されてゆく。

住民の生きる権利を守るはずの自治体なのに、当地藤沢の現状はなんとも情けない有様である。海老根市長は藤沢には江ノ島などの充実した観光資源があるので「新たに藤沢に来る武田の社員やその家族にも満足してもらえと思う」、「新研究所建設で地元が元気になる。藤沢市民、湘南市民の健康にも大きなこと」と述べたそうだ。「健康にも大きなこと」というのは、市民がバイオハザードに巻き込まれる危険があるというのではなく、新薬開発で助かるということだろうか？

去る6月27日に「元気になる」と言われている地元自治会主催で武田薬品の説明会がおこなわれたが、住民からは「研究所から出る様々な化学物質は法律をオーバーしない量なのかもしれない。でも私たちはずっとその中で生活し、子育てをしていく。その影響は子や孫と世代を重ねるごとに流産、死産、奇型といったかたちで出てくる。武田さんは法令遵守だから大丈夫ですと言うが、今すぐ死ぬわけじゃないから文句を言うなと聞こえてくる。」と不安と怒りの声が上がった。

また近隣では武田のせいでコミュニティーがすでに壊れているという意見も出た。「武田社員は自治会には入れたくない。武田社員の家族とは付き合えない。」というのである。この3年間いつも武田はご意見、ご要望はうかがっておきますと言うだけで住民には何の回答もしてこなかったのだから、不安感が高まり悪感情を持ってしまうのも当然のこと。しかし社員の家族に罪はない。実験動物を社宅の目の前で燃やすことからして、武田薬品の企業姿勢そのものが間違っているのである。

日本の億万長者が公表されるようになり、武田薬品の長谷川社長は年収2億円を超える大金持ちであることが分かった。それなのになぜ安全対策費用をケチるのか？社員は使い捨て、住民は虫けら程度にしか思っていないのだろう。

今年も江ノ島海水浴場は大勢の観光客で賑わっている。しかし来年からは湘南海岸は世界一危ない海になるのかもしれない。発病は忘れた頃にやってくる。知らぬがお陀仏にはなりたくない。

(A・Y)

第15回ふじさわ環境フェア2010をふりかえって

今年のふじさわ環境フェアは、6月26日(土)～27日(日)に市民会館の第1展示、第2展示場、小ホール、前庭、多目的広場・奥田公園などで多彩な催しが繰り広げられました。参加した団体は、市民団体、事業者、学校、行政関係で61団体でした。市民の参加者は延べ6000名を越え、環境月間の協賛行事も含めるともっと多数の市民が参加していることは間違いなく、市制70周年を記念するにふさわしい盛り上がりを見せました。

メインテーマである「めざそう低炭素の都市、生きものと共生できるまち ふじさわ」は、2010年度までに地球温暖化ガス削減で90年比-6%を掲げた藤沢市の意欲的な目標にふさわしく、さらに、今年は国連が定めた「国際生物多様性年」にもとづき、10月に名古屋市で開かれる「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」に対応するにふさわしいものでした。

従って、今年の大きな特徴は、たくさんの生物が絶滅の危機にさらされ、生物多様性が今、危機に瀕している中で、これまで「藤沢メダカの学校」をはじめ多くの藤沢市民が自然環境の保全・生物多様性の保全にかかわってきました。この機会に、これらの団体のブースが第2展示場で一堂に会し展示されました。市民の関心も高く、第1展示場の入場者数より第2展示場の入場者数が初めて上回ったのはその現れではないでしょうか。しかも、実物や標本が展示され、手づくりがあり、参加型のブースは子ども達の心を掴んだようです。

今年、初参加の団体で「藤沢市片瀬地区レジ袋削減推進協議会」は、地域の自治会や商店会などを含めた取り組みをめざしています。もう一つは、江の島の「エコ島・エコチャリ」をめざしている「地球温暖化対策地域推進協議会」です。2つに共通しているのは「地域モデル」で、面的事業は重要で注目されます。面的事業となれば、地域の活性化ともつながり商店会などの協力が不可欠となるのではないのでしょうか。

また、今年の新しい試みとして、参加団体のPRタイムが「ミニレクチャー」コーナーに取り入れられ、参加団体の交流がはかられ好評でした。しかも、市内ベンチャー企業の協力で、バックグラウンドミュージックも含めすべての電力は太陽光発電をバッテリーに蓄えまかなわれました(海岸や山の中など電気のないところでイベントに使える優れたアイデア)。小ホールでは市内四大学のエコ活動の発表があり、大学との協力関係がこれまでよりさらに密接となることが期待されます。

今年の環境フェアを支えたのは、これまで、事務局である市環境部都市政策課におんぶにだっこだった企画委員会から実行委員会方式へ変わったことではないのでしょうか。企画から実行まで実行委員会として責任をもってやろうと委員達が頑張ったこと本当にご苦労さまでした。土曜日の参加者をどうやって増やすか、梅雨時の雨天対策をどうするか、財政難の中で内容を充実するにはどうするかなど今後の課題はたくさんあると思いますが、来年に向けて、ふじさわ環境フェアが益々発展することを祈ります。(宮地)

にぎわったふじさわ環境フェア—2010

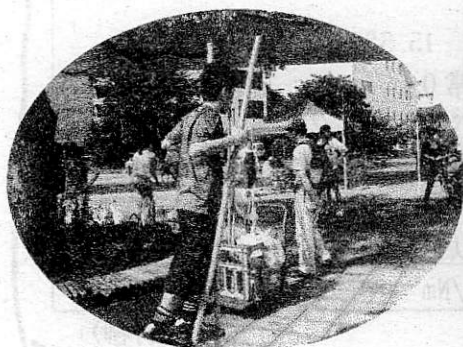
展示会場



団体 PR

おもしろかった実験

・体験



武田薬品・実験動物焼却炉

神奈川県は、ダイオキシン特措法に基づく特定施設・武田薬品工業の廃棄物焼却炉（実験動物焼却炉）の設置届出書を2010年3月30日に受理した。藤沢市も4月、県生活環境の保全に関する条例による指定事業所の指定施設・廃棄物焼却炉の設置を許可した。2011年2月稼働予定で建設が始まっている。

実験動物の死体は一般廃棄物なので、立地の規制はないと県、市は言うが、生命体の死体を単なる一般廃棄物とするのは、公衆衛生上からも問題があるのではないかと法的にはグレーゾーンのように思う。というのは、家畜を扱う化製場法では、燃やす場合は300m以上住宅から離さなければいけない（藤沢市細則）し、人の火葬場も県条例で300m以上住宅から離すきまりがある。

武田薬品は、マウス換算100万匹にも達する巨大動物実験棟を持ち、毎日900kgの動物死体を焼却する。それを住宅街で行って許されるのであろうか。実験動物焼却については法の不備としか言いようがない。

国立感染症研究所や鎌倉の中外製薬では実験動物焼却は外部委託しており、住宅街で焼却はしていない。動物ではない可燃物を燃やす焼却炉でも健康に被害があるという理由で住宅街では拒否されることが多い。綾瀬市では、過去に焼却炉によるダイオキシン被害がひどかったため、焼却炉をつくる場合は周辺住民の同意を必要とするなどきつい規則をつくっている。まして薬物や遺伝子組み換え、感染性病原体、RI（放射性同位元素）実験等に使われた実験動物を燃やす焼却炉を目の前につくられるとしたらどうだろうか。

周辺住民は今、次々と反対の声を出し、説明会で何回説明を聞いても安心する内容は得られず、かえって不安と疑心が生まれるばかりの状況である。現在3団体が焼却炉稼働中止の署名活動を始めた。活動中心は子育て中のママさん達である。子や孫に何か得体の知れない病気が降りかかるかもしれない、ウイグルが、有害化学物質が等々。

焼却炉の概要がやっと公開されたが、肝心のところが墨塗りで公開されていない。

- | | | |
|---|------------------------------------|--------------------------|
| ・型式：固定床型焼却炉 | ・焼却能力：150 kg/h | ・火床面積：1.96m ² |
| ・使用時間：8時30分～22時 | 25日/月 | |
| ・種類：動物屍体 | ・使用割合：動物 ■ 動物由来の廃棄物 ■ | |
| ・1日の使用量：900 kg | (注：■は墨塗りで公開せず) | |
| ・排出ガス：最大 2,488Nm ³ /h | 通常 2,488Nm ³ /h | |
| ・排出ガス温度：170℃ | ・排出ガス中の酸素濃度 15.5% | |
| ・排出ガス中のダイオキシン類の濃度最大 0.65 | 通常 0.007 (ng-TEQ/m ³ N) | |
| ・発生ガスの処理の内容：消石灰活性炭吹込装置 バグフィルタ集塵機 | | |
| ・ガス処理の系統：ガス流入(約800度)——>水冷却熱交換機——>空気冷却熱交換機(190度)——>消石灰活性炭噴霧——>バグフィルター——>ガス放出(170度) | | |
| ・1次炉 6時間(9:30～15:30) ・2次炉 10時間以上(8:45～19:00) | | |
| ・硫黄酸化物 22ppm・塩化水素 90mg/Nm ³ ・煤塵 0.05 g/Nm ³ ・窒素酸化物 190ppm | | |

(青柳)

武田薬品工業(株)新研究所における実験動物焼却炉稼働中止を求める陳情

<陳情理由>

武田薬品工業(株)は一般住宅やマンションに近接し、近隣には学校、幼稚園、病院、老人施設などがある場所に、1日約1トンもの実験動物の屍体を焼却できる大規模な焼却炉を建設しています。45メートルの巨大な煙突からはイヌ、サル、ラット、ウサギ等が焼却されるにおいと化学物質や様々な危険物質が毎日排出されるおそれがあります。悪臭と健康被害におびえながら生活することは住民にとって大変な苦痛です。特に研究所の北側、焼却炉の風下にあたる住宅街は煙突を見下ろす位置にあり排気の通り道となるため、濃度の濃い排気を毎日吸い続けなければなりません。家族の健康、とりわけ子どもたちや体の弱いお年寄りへの影響が心配です。

国立感染症研究所や近くの中外製薬などは実験動物の焼却はせず、専門業者に委託処理しています。藤沢市の家畜に関する化製場法律施行細則や人間の火葬場の県条例規則では300メートル以内に住宅があると焼却炉はつくることができません。また綾瀬市では隣接住民全員の合意がなければ焼却炉はつくることができません。

良好な環境の中で暮すことが私たちの願いであり、それを子孫に受け継ぐことが私たちの使命です。住民の心からの願いを聞き入れていただき、貴議会が下記項目を市に要請してくださいませよう陳情いたします。

<陳情項目>

・武田薬品工業(株)新研究所の実験動物焼却炉の稼働を中止するよう指導してください。

焼却炉からみんなを守る会

連絡先 沖野恵美子 藤沢市渡内1-2-6

氏 名	住 所

藤沢市リサイクルセンター建設

藤沢市の北部、桐原に「藤沢リサイクルセンター」予定地に現在ある「建設資源リサイクルセンター」の移転先が整地され基礎の掘削が始まりました。

藤沢市は茅ヶ崎市、寒川町との「神奈川県ごみ処理広域化計画」が「湘南東ブロック」として位置づけられたのは平成10年3月でした。その後「ごみ処理広域化調整会議」が設置され基本的な検討、建設予定地の検討などを重ね平成19年にパブリックコメントを実施したうえで広域化実施計画が策定されました。

この間に藤沢でのごみの問題は「容器包装リサイクル化」「家電リサイクル化」「焼却炉のダイオキシン規制対策」「荏原ダイオキシン問題」や「ごみの有料化」等の資源化と環境汚染対策に取り組む事がたくさんありました。

藤沢市リサイクルセンターはエコネットニュース第186号(2009.11月号)で計画の概要をお知らせしましたが再度概要を記します。この施設は不燃ごみ、大型ごみの破碎処理施設とビン、カン、ペットボトル、プラスチック容器包装等の中間処理を行う資源化施設、ダンボールなど紙類のストックヤード、環境啓発のための施設をあわせた総合的な「資源循環施設」として計画されています。

破碎施設は 1日 70.5 トン (既存 94t)

資源化施設は1日に 61.5 トン (既存 49t) を処理する計画で、その内ビン類 15.5t

カン、金属類 10.0 t

ペットボトル 7.0 t

プラスチック 24.5 t

紙類のストックヤード 4.5 t です。

特に破碎施設は現在老朽化が進み新たに対策をとる必要があったためです。

費用は88億円で国、県が約27億円、地方債約51億円 環境基金から約9億円です。

建物の用地は、桐原環境事業所隣接の建設資源リサイクルセンターを北部環境事業センター東側の隣接三角地に移転し、桐原環境事業所一角を全部使って建設を予定し

ています。

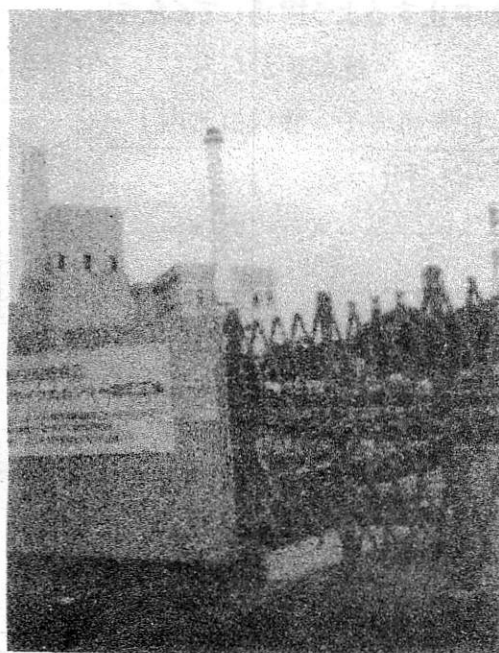
事業手法は破碎施設はDBO方式(設計、施工、運営、補修を事業者が行う)。その他の施設はDBM方式(事業者が設計、施工、補修し運転は別の事業者が行う)です。

事業者はすでに市からの応募の説明、質疑等を行っており、2010.7月には工事請負仮契約の時期となっています。工事は契約日から始まり平成25年3月末には終わり、運転は同4月1日からとなります。

生ごみの堆肥化センターは現在建設予定はありません。横須賀市のような大規模な施設になることは間違いありません。

写真は三角地の「建設資源リサイクルセンター」建設現場です。

(H・H)



「学んで楽しくクッキング」 ～食の安全学習と米粉でケーキ作り～

ふじさわ環境フェア協賛行事として6月2日に新婦人藤沢支部の主催でケーキ作りの実演と学習会を村岡公民館で開催しました。米粉を使ったチーズケーキを参加した子どもと一緒に作り、オーブンや炊飯器にセットしてから、多古町産直センター講師の学習会を別室で開きました。

ごはんは食後のインスリン（体脂肪の蓄積を促す物質）の分泌が少なくパンより食後の血中中性脂肪が低い等肥満の予防に有効です。脂肪を減らすにはごはんを増やすことが大事。どの世代にも体にいいのは米で特に玄米・7分づき米が有効です。内臓若返り食の中心もご飯で「まごはやさしいこ」が理想です。

ま	豆
ご	ごま
は	わかめ（海草）
や	野菜
さ	魚
し	しいたけ（きのこ類）
い	いも
こ	ご飯



米穀安定供給確保支援機構「お米・ごはん食データベース」より

栄養成分表（七分づき米は栄養分が豊富）

日本の食物の自給率は41%（小麦は14%）で大半が輸入のためか最近増えた小麦アレルギーの子のために参加した人もいました。

	タンパク質	脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンE	ビタミンB1	食物繊維
玄米ごはん	4.2	1.5	53.4	10.5	73.5	0.9	0.75	0.24	2.1
七分づき米ごはん	4.05	0.9	54.6	7.5	36.0	0.3	0.6	0.12	1.2
白米ごはん	3.75	0.45	55.6	4.5	10.5	0.15	-	0.03	0.45
食パン	5.85	2.77	29.4	18.2	12.6	0.37	0.37	0.04	1.44

ごはん＝茶わん1杯(150g分) 食パン＝6枚きり1枚(63g) 「五訂食品成分表」より簡算

誰でも、いつでも、どこでも安全な食品を安心して手に入れ、食べることができるためにを合いことばに「かながわ食の安全・安心条例（仮称）」の制定運動をすすめましょうと結んで学習会は閉会しました。

学習会後は米粉を使ったチヂミや野菜のための実演とできあがったチーズケーキの楽しい試食・お茶会となりました。

（小橋）

エコドライブを推進する

キャッチフレーズ・キャラクター募集

- ① キャッチフレーズ(20～40字程度の文章)
- ② キャラクター



神奈川県内に在住・在勤・在学のかた 入賞者には部門ごとに賞金が出ます

締切 2010年8月31日(火)

応募 神奈川県のホームページをご覧ください「エコドライブの支援サービス」

主催/連絡先 神奈川県環境部交通環境グループ ☎045-210-411

持続可能な未来を求めて～映画「ミツバチの羽音と地球の回転」

9月15日(水) 2:15～・17:40～ 鎌仲ひとみ監督の講演あり

横浜情報文化センター6階(日本大通り駅0分)

主催 上映実行委員会 ☎045-922-2083 田代

武田薬品研究所下水道管敷設費用差し止め住民訴訟 傍聴を!

8月2日(月) 11時 横浜地方裁判所 連絡先 小林 44-0375

武田薬品対策連絡会

8月5日(木) 18:30から 市民活動推進センター 連絡先 080-5099-4264

神奈川県母親大会「生命を生みだす母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます」

記念講演 米田佐夜子さん(女性史研究家)

分科会 「どうなる? 社会保障」など8分科会

オープニング 津軽三味線 西はじめさんほか地元のみなさん

9月5日(日) 10:00～16:00 茅ヶ崎市民文化会館

主催 第55回神奈川県母親第5回茅ヶ崎母親大会実行委員会

tel/fax 045-641-8815



ごみ有料化裁判

最高裁判所に上告したので、最高裁判所第三小法廷において審理をすることになりました
事件番号は 平成22年(行ツ)第299号

平成22年(行ヒ)第307号

連絡先 ☎44-2652村上

藤沢エコネットお知らせ

会員募集→会費3000円 振込口座は→郵便局へ→00240-9-46501 藤沢エコネット

次回事務局会議 8月12日(木) 15:00～ 市民活動推進センターにて

《編集後記》猛暑が続いたしかに気候異変である。その中での7月11日参議院選挙は民主党の半数割れで、ねじれ国会となった。期待した温暖化防止への取組みはどうか早急に進めて欲しいものである。市民はこの暑さの中消費電力を押さえて生活しているのだ。緑の木陰がなければ涼しい風も吹いてこない。夏休みの計画も熱中症に気をつけて。(H)